

【ねがいましては】

第30号

共和珠算塾 新浜
平成2年12月 1日

「期待」 しすぎは？

もう10年ほど前になるでしょうか。ある居酒屋で耳にした話です。年齢は40歳中ごろと
いった感じの方で、呉服の卸しの仕事をなさっているということです。「私はあまり人には期
待はしないんです。特に借金なんかね。」

その方には若いころ無二の親友がいらして、ある日その友人が「お金を貸してほしい」とせ
がんできたのだそうです。かなりの額だったそうです。その方はさんざん駆けまわってそのお
金を作り、二人の友情は益々無深まるばかりのようだった・・・が、その友人はそれきり姿を
見せなかったそうです。

その方の怒りは並ではないのはあたりまえです。がある日、海を目の前にしたとき「なんて
俺はバカなんだろう。こんなちっぽけなことで。あのお金は彼にあげたんだ。」と、思ったと
き、今までの怒りはどこかへ消えたそうです。

それからまた長い年月がたち、ある日ばったりとその友人に会ったそうです。その時、穏や
かな気持ちでいられたことに、その方は「大きな勉強をしました。そのことがなければ、今の
私はいませんよ。」

当時の私にはかなり響いたのでしょう。

子どもたちはどうしても期待されがちです。この子はこういう子に育てよう。私はあまり出
来が良くなかったから、この子だけは、お父さんに似てほしくないわ・・・この子だけ、こ
の子だけ。

この子に期待する夢はぐるぐる駆けめぐる。

ある子は小3から進学塾と親に徹底した管理教育を施されました。その子はみごと受験に勝
利をおさめたそうです。が、ふと気がつくと、中3になりながらも、まだ母親に「トイレ行っ
てきてもいい？」という許可を受けるのだそうです。親もそれがどういうことなのか、気がつ
かずにいます。「受験」という勝利のためにかなりの精神的代償をはらったわけです。子ども
たちが一番持つべきもの「明るさ」。その裏にはのびのびとした精神が働いています。

おかあさんの手

おかあさんの手
ゴツゴツしている

男の人の手みたい
さわったら カサカサや

いつもはたらいているからやなあ

おかあさんの手
カサカサでも
わたしは大すきや

☆12月の予定

4日(火) 検定試験合格発表

25日(火) クリスマス会とシール交換 この日よりお休み(学習科は26日より)

くわしいことはべつにおてがみをあげます

新年?日 アイススケートはつすべり しけんをすべるまえにおもいきりすべってお
こう くわしいことはおてがみをあげます

新年8日(火) お正月ちゅうせん会・・・この日より授業がはじまります
学習科は9日よりはじまります